

なまはげを一知る一

男鹿真山伝承館



ナマハゲ習俗学習講座

4月～11月

定 時 9:00 9:30 10:00 10:30
11:00 11:30
13:30 14:00 14:30 15:00
15:30 16:00 16:30

所要時間 約20分(再現解説・受講)

受講料	個人		15名以上		30名以上	
	伝承館	共通券	伝承館	共通券	伝承館	共通券
一般	700円	800円	600円	750円	500円	700円
税込	(770円)	(880円)	(660円)	(825円)	(550円)	(770円)
小・中・高生	500円		400円		300円	
税込	(550円)		(440円)		(330円)	

※園児団体受講料は、1名につき100円(税込110円)

※団体予約申し込みの場合は、真山神社境内案内(所要約20分)も致します。

12月～3月

毎週土曜日・日曜日及び祝日

定 時 9:30 10:30 11:30
13:30 14:30 15:30

※上記時間外及び平日でも、15名以上の団体は予約受け致します。

所要時間 約20分(再現解説・受講)

受講料 (冬期料金)

	伝承館	共通券
一般	700円	1,000円
税込	(770円)	(1,100円)
小・中・高生	500円	700円
税込	(550円)	(770円)

真山神社社務所
男鹿真山伝承館

一日本海域文化研究所一

〒010-0685

秋田県男鹿市北浦真山字水喰沢97

TEL 0185-33-3033

2468

FAX 0185-33-2468

ナマハゲ習俗学習講座

ナマハゲ行事は毎年、大晦日の晩に男鹿半島のほぼ全域で行われる。ナマハゲの語源は「ナモミを剥ぐ」という言葉がなまったもので、ナモミとは炉端にかじりついていると手足にできる火型(ひがた)のこと。それをはぎ取り、怠惰をいましめるのがナマハゲである。ナマハゲ類似の習俗は全国各地にみられるが、男鹿のナマハゲは真山・本山に鎮座する神々の化身と信じられている。災禍を祓い、豊作・豊漁・吉事をもたらす来訪神として各家では丁重に迎えてなす。なかでもここ真山のナマハゲは、古い伝統としきたりを厳粛に受け継いでいる。伝承館ではこの真山地区のナマハゲ習俗を体験し理解していただく為に学習講座を開設している。『男鹿のナマハゲ』は

昭和53年、国の重要無形民俗文化財に指定された。

また、平成30年には来訪神：仮面、仮装の神々としてユネスコ無形文化遺産にも登録された。



ナマハゲ問答

先 立 お晩です。ナマハゲ来たす。

先立・主人 お目出度うございます。

主 人 寒びどご良ぐ来てけだすな。

先 立 山から来るに容易でねがったす。

ナマハゲ ウオー、(玄関で7回シコを踏む)泣ぐ子はいねが。怠け者はいねが。言うごと聞がね子どら(子供等)いねが。親の面倒みない悪りい嫁いねが。ウオー(家中探しまわる)

主 人 ナマハゲさん、まんず座って酒っこ飲んでくなんしえ(下さい)。(ナマハゲ、お膳に着く前に5回シコを踏んで座る)

主人・ナマハゲ お目出度うございます。

主 人 なんと、深け雪の中、容易でねがったすべ。今年も来てけで(くれて)えがったすな。

ナマハゲ 親父、今年の作なんとであった。

主 人 お陰でいい作であったすでば。

ナマハゲ んだか(そうか)。まだいい作なるよう拌んでいくがらな。

子どら皆まじめ(真面目)に勉強しているが。

主 人 おらい(私の家)の子どら、まじめで、親の言うごとよく聞くいい子だから。

ナマハゲ どころ、本当だが。ナマハゲの台帳見てみるが。何々テレビばり(ばかり)見で何も勉強さねし、手伝いもさねて書であるど。親父、子どら言うごと聞がねがったら、手っコ三つただけ。へば(そうすれば)いづでも山がら降りて来るがらな。どれもうひとげり(一回)探してみるが。(ナマハゲお膳を離れる前に3回シコを踏む)。ウオー、ウオー。(又家中まわる)

主 人 ナマハゲさん、まんず、この餅こで御免してくなんしえ(下さい)。

ナマハゲ 親父、子どらのしづけ(驥)がりつと(ちゃんと)して、え(家)の者皆まめ(健康)でれよ。来年まだくるがらな。